

## 漏電検知モジュール（トランジスタ出力型）

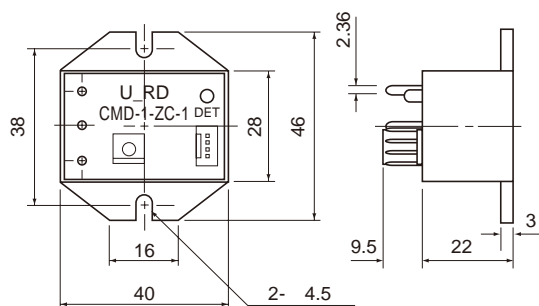


**型 式** CMD-1-ZC-1

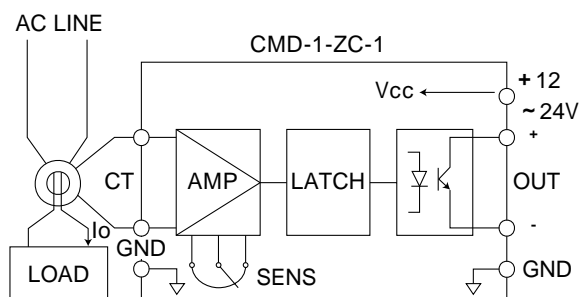
### 〔特 長〕

- 交流電流センサ（CTL-Zシリーズ）との組合せで、漏電電流を検出するためのモジュールです。
- 10～27VDCの単電源で駆動し、漏電時自己保持機能付のフォトカプラ・オープンコレクタ出力です。
- 漏電電流感度は、（CTL-24-S28-10Z）を基準センサとしたとき7mA～50mAの間、調整可能です。条件設定を変えればある程度任意の電流値に設定できます。

### 〔外形図〕



### 〔接続図〕



### 〔仕 様〕

適用電流センサ	漏電電流設定範囲
CTL-12-S60-7Z	5～36mA
CTL-24-S28-10Z	7～50mA
CTL-24-S28-20Z	12～98mA
CTL-10-CLS	16～140mA
CTL-16-CLS	16～140mA
CTU-22-CLF	13～85mA

- 上記の設定範囲は、代表値です。  
出荷時は（CTL-24-S28-10Z）を基準センサとして、動作点（30mA）に調整済です。

**制御電源** DC10～27V / 20mA

**出力側** VCE : DC35V MAX  
Ic : 70mA MAX  
フォトカプラ  
オープンコレクタ出力

- 付属品  
入力側：リセプタクル端子台（LVF-01T-2.36N）  
スリーブ（SIP-LV）..... 各3個  
出力側：モレックス、ターミナル（5159TL）4個  
ハウジング（5051-04）..... 1個

### 〔使用上のポイント〕

- 微小な漏電検知を行うときは、検出する電線を電流センサの貫通穴にNターンすることで、動作感度はN倍となります。
- 動作感度を下げたいときは、電流センサ出力端子に抵抗（ $R_L$ ）を並列に接続します。  

$$E_o = I_z \cdot R_t / n = 7.5 \text{ (mV)}$$
を目安として計算できます。  
 $E_o$  : 電流センサ出力電圧 (V)  
 $I_z$  : 漏電電流設定値 (A)  
 $R_t$  :  $R_L$ とAMPの入力抵抗 (250 )との並列合成抵抗値 ( )  
 $n$  : 電流センサ巻数 (ターン)
- 連続最大許容電流100A
- 動作時出力は自己保持します。リセットは制御電源OFFにより行います。